

特別講演会 **高橋 昭** 名古屋大学名誉教授

川原 汎先生 と 勝沼精藏先生

—名古屋大学医学部史に輝く内科学の泰斗—



2018年**10月16日(火)**
14:00-15:30

名古屋大学医学部
基礎研究棟
1階 会議室2

入場無料
予約不要

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館
名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL 052-744-2505



川原 汎先生 と 勝沼精藏先生 —名古屋大学医学部史に輝く内科学の泰斗—

日時: 2018年10月16日(火) 14:00-15:30

会場: 名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

川原 ^{ひろし} 汎先生は、安政5年(1858)長崎県大村市で出生。大正7年(1918)没。長崎医学学校を経て、明治16年(1883)東京大学医学部を卒業、同年10月に愛知医学校一等教諭として着任、内科学、病理学、衛生学、精神病学の教壇に立たれ、肺結核のため明治30年(1897)に退職された。この間に、日本最初の神経内科学書『内科彙講 神経系統篇』を刊行、世界最初の遺伝性球麻痺疾患を記載された。

勝沼精藏先生は、明治19年(1886)神戸で出生。明治44年(1911)東京帝国大学医科大学を卒業、内科学と病理学を専攻、大正8年(1919)西園寺公望、三浦謹之助に随行して渡仏、近代医学を履修、同年帰国後に愛知県立医学専門学校教授として着任、以後名古屋医科大学、名古屋帝国大学医学部の内科学教授を経て、昭和24年(1949)名古屋大学総長に推挙されるまで、傑出した内科学者を育成、輩出された。この間に独、仏、英国に留学、オキシターゼの組織学的研究を発表、大正15年(1926)帝国学士院賞を受賞。多くの学会の創立に寄与、海外の勲章、名誉学位などを授与された。



高橋 昭(名古屋大学名誉教授)

名古屋市生まれ

名古屋大学医学部 1955年卒業 第一内科助手、愛知医大教授(内科学)
を経て名古屋大学教授(神経内科学)、附属病院長

医学博士。専門(神経内科学、医史学)

日本神経学会名誉会員、日本神経治療学会名誉会員、日本医史学会功労会員

著書: "The history of neurology in Japan" (Handbook of Clinical Neurology, 2010)、『ロバートソン自律神経学』(監修、2015)ほか

医学史に残る

大先輩の足跡

ミニ展示会



2018 5.23 WED-10.31 WED

平日 9:00-20:00 8月8日-8月24日は9:00-17:00

土 13:00-17:00 8月8-24日の土曜日は休館日

休館日: 日・祝日、8月13、14、25-31日

入場無料

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール